

9月27(日曜日)「光が見えるように」

【新改訳 2017】

ルカ 8.16-18

「あかりをつけてから、それを器で隠したり、寝台の下に置いたりする者はありません。燭台の上に置きます。入ってくる人々に、その光が見えるためです。」(16 節)

マタイはこのことばの先に、「あなたがたは、世界の光です」とイエスが言われたと書いています(5.14、15)。主の弟子たちは、神の国の奥義を知らされたことで世界の光をもつことになったのでした。今、すべてのキリスト者についても言えることです。夜、月が太陽の光を反映して輝き、闇を照らすように、信者は光なる主イエスを知り、信じている者とし、主の光、神の国の福音の光を、救い求めている多くの人たちに見えるようにしなさいと言われているのです。

隠してはいけません。クリスチャンぶる必要はありませんが、クリスチャンであることを隠してはならないのです。ありのままに、ただ、主の救いの感謝と喜びを、福音のすばらしさを証しましょう。だれかがそうしてくれたので、自分も光を見たこ

とを忘れないで。

～祈り～

主よ。時々、福音の光を隠してしまうようなことをする者をゆるしてください。いつも、自然に、人々に見えるようにそれを掲げさせてください。

**【学びのために】**

当時の人々の生活状況から考えれば、極めて分かりやすい実感のともなう例だったと思われます。